

# 友好の絆を いつまでも

江戸川区と鶴岡市の友好には、長い歴史と後世に語り継ぎたいエピソードがあります。友好の絆を更に深めて、交流の輪を一層広げましょう。

問本所総務課 ☎内線315

## 学童疎開に始まる縁

東京都江戸川区と鶴岡市との友好の歴史は、第二次世界大戦中に遡ります。昭和19年、戦火にさらされていた東京では、児童の集団疎開が始まり、江戸川区の児童4、300人以上が、同年8月から終戦後の20年11月まで、鶴岡の各地で疎開生活を送りました。親元を離れて暮らす寂しさの中でも、鶴岡の豊かな土地柄と人々の温かさによって、比較的恵まれた生活を送ることができたと言えられています。

## 深まる交流、そして盟約の締結

交流が始まったのは昭和29年頃のこと。疎開児童たちは、大人になっても鶴岡の人の温かい心を忘れることなく、実際に鶴岡を訪れるようになります。その後、昭和39年の新潟地震で被



▲昭和20年頃の湯田川温泉の疎開児童たち



▲5月31日にオンラインで行われた盟約40周年記念式典

害を受けた本市への援助や、疎開当時に遊んだ内川へのコイや金魚の放流行事などを通じて関係を育んできました。こうして長年培われてきた交流・友情の輪を区民・市民に広げようと、昭和56年5月25日、両都市は友好都市の盟約を結びました。

## 友好の絆をいつまでも

現在も、両都市は文化・教育・経済などの分野で盛んに交流。先日行われた記念式典で、斉藤猛江戸川区長は「区民にとって鶴岡は第二のふるさと。友好の輪が幾重にも広がっていくことを願う」、皆川市長は「交流の一層の発展を図り、SDGsの目標にも資する未来志向の新たな都市交流に取り組みたい」と挨拶し、今後も、両都市の絆を更に深めることを誓い合いました。

江戸川区は  
こんなまち！

人口約70万人の大都市であると同時に、水と緑が豊かな美しいまち江戸川区。福祉施策が充実しており、「誰もが安心して自分らしく暮らせるまち」として、共生社会の実現を目指しています。今年5月21日に内閣府からSDGs未来都市に選定されました。



東京23区

江戸川区は  
ココです！

人口：69万4,104人  
(令和3年6月1日現在)  
面積：49.09km<sup>2</sup>  
区の木：クスノキ  
区の花：ツツジ  
特産品：小松菜、金魚、朝顔 等  
江戸川区ホームページはこちら↓



江戸川区章



▲小松川境川親水公園



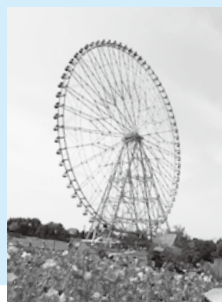
▲総合レクリエーション公園



◀昨年開所30周年を迎えた  
鶴岡市東京事務所



▲江戸川区役所にある  
友好都市展示ブース



▲葛西臨海公園  
ダイヤと花の大観覧車



▲小岩菖蒲園



▲タワーホール船堀



▲船堀駅前で毎年開催される  
日本海鶴岡寒鯖まつり